

Pick up!

輝く男性の家事・子育て体験記

～ 私と娘の1年間～

公務員 S・S

私は、妻と2歳半の長女と3人で暮らしています。昨年度、娘が保育園に入園し、1年が経ちました。この1年を振り返って経験したこと、感じたことをお話ししたいと思います。



昨年4月、妻が育休から復職し、1歳半の娘を保育園に預けるようになりました。母親と長時間離れて過ごす寂しさからか、娘は毎朝泣いて、保育園に行くのを嫌がりました。また、仕事を終えて迎えに行くと、いつも先生の膝の上で目を真っ赤に腫らして座っていました。

まだ2歳にもならない子に無理を強いることに、父親としても複雑な思いがありました。しかし、娘には外の世界で色んな刺激を受けて、たくさんの経験をしてもらいたいと考えています。

元気の無い娘の姿を見て、仕事以外の時間は、できるかぎり娘のために使おうと思うようになりました。なるべく早く帰宅できるよう、毎日帰宅前に翌日行うべき業務を書き出し、優先順位を確認して仕事に取り掛かるようにしました。常に業務の期限と、全体量を把握しているので、急なトラブルにも対応しやすくなり、残業時間も減っていきました。

時間を効率的に使えるようになり、帰宅後は、歌を歌ったり、ダンスをしたり、絵本を読んだり、毎日娘と楽しく遊んでいます。また、自分の時間として趣味のサッカーも今までどおり楽しんでいます。

娘が保育園にも慣れ始めたころ、今度は、毎月のように病気をもらってくるようになりました。妻と交代で仕事を休み、看病をしましたが、そのうち自分にうつってしまい、「子の看護休暇制度」と「年次有給休暇」を使って1週間近く休むことが何度かありました。

私の職場は、「子の看護休暇制度」が中学校就学前まで利用できるのですが、とてもありがたいのですが、思うように働けないことや、周りの方に迷惑をかけてしまうことがとても辛かったです。それでも、みなさん嫌な顔をせず、私や娘の体調を気遣ってくださいました。子育てしやすい制度があり、それを利用することへの職場の理解があることに大変感謝しています。今はまだ迷惑をかけてしまうことが多いですが、たくさんサポートしていただいた分、同じように子育てをしていく次の世代に必ず返していこうと思います。



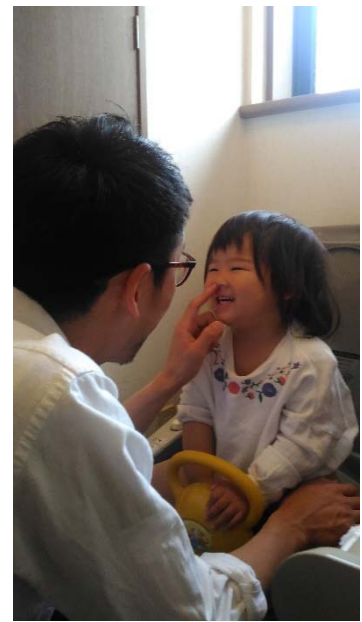
家事においては、掃除、洗濯、皿洗いを自分が担当しています。妻と比べると手際が悪く時間

がかかりますが、この1年で自分なりのやり方が見えてきて、徐々に家事が楽しくなってきました。特にカッターシャツは、襟元の専用洗剤を塗るところからアイロンがけまで、かなりのこだわりを持ってやっています。

日々、育児と家事で忙しい中でも、身なりをきちんと整えて、娘にかっこいいと言ってもらえる父親でいたいと思っています。

最近、娘はトイレトレーニングに挑戦しています。先日、タイミング良く排泄することができた時は、3人で大喜びしました。「お姉さんパンツ履きたい！」と意欲的に取り組む姿は、ほほえましくもあり、たくましくもあります。

私は、娘の横でただ応援しているだけでなく、私自身もいろいろなことに挑戦をする姿を見せることで、娘に何かを感じてほしいと思っています。この1年での経験を通じて、娘と共に多くのことを吸収し、学ぶことができました。これからも立ち止まることなく、娘と共に成長していきたいです。



(平成29年6月5日作成)